タイトル

～サブタイトル（設定しない場合は削除してください）～

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日銀大学 | 情報サービス学部 | 日銀グランプリ |
| 〇〇大学 | △△学部 |  |
| 〇〇大学 | △△学部 |  |
| 〇〇大学 | △△学部 |  |

＜要旨＞400字以内

テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト

※本文＜4,000字以上6,000字以内＞はこのページ［タイトル・要旨の後］から開始してください。なお、図表は本文の後にまとめてご記載いただき、本文中に挿入しないでください（このインストラクションは削除のうえ、ご提出ください）。

■図表

※図表は、このページ［本文の後］以降にまとめてご記載いただき、本文中に挿入しないでください。図表数は５つまでとし、下記を参考に図表番号、タイトル、出所を明示してください。なお、図表内の凡例の色などは、白黒印刷をした際にも判読しやすいことを考慮のうえ、ご選択ください（このインストラクションや下記の例示は削除の上、ご提出ください）。

図表１：タイトル

出所）〇〇〇

図表２：タイトル

出所）△△△

■参考文献一覧

※参考文献一覧はこのページ［図表の後］以降にご記載ください。下記のルールに従って、記載例を参考にご記入ください（このインストラクションや下記のルールおよび例示は、削除のうえ、提出してください）。

※参考文献一覧の作成ルール

・文献（ここでは、書籍、論文、ウェブサイトなど参照したものをすべて指します）は、日本語と外国語に分けてリスト化し、日本語文献→外国語文献の順に並べてください。

・文献の記載順は、日本語文献は第1著者の姓のアイウエオ順、外国語文献は第1著者の姓のアルファベット順にしてください。なお、著者の姓名はフルネームをご記載ください。

・参考文献の表示項目・記載順・スタイルは、文献の種類によって以下の通りとします。

［日本語書籍］著者名、「タイトル」、『書名』、発行元、発行年

［日本語論文］著者名１・著者名２、「タイトル」、『雑誌名』、掲載巻号数（雑誌掲載論文の場合）、発行元（明らかな場合）、発行年、掲載ページ

［日本語ウェブサイト］著者名、「タイトル」、ウェブサイト名、発行元、発行年、（URL、筆者自身の最新アクセス日付）

［外国語書籍］著者名、"タイトル"、*書名*（*雑誌名*）、発行元、発行年

［外国語ウェブサイト］著者名, "タイトル", ウェブサイト名, 発行元, 発行年 (available at URL, 筆者自身の最新アクセス日付)

　例：

　青木浩介・須藤　直、「銀行の資産選択と物価変動」、日本銀行ワーキングペーパーNo.12-J-4、日本銀行、2012年

　日本銀行、「学生向けコンテスト「第19回　日銀グランプリ」決勝大会の模様（動画、講評、プレゼン資料等）および奨励賞論文要旨」、日本銀行、2024年（https://www.boj.or.jp/about/nichigin\_gp/ngp\_release/ngp240205.htm、2024年5月7日）

　日本銀行、『日本銀行百年史　資料編』、日本銀行、1986年

　Shirota, Toyoichiro and Satoshi Tsuchida, "Aggregate Implications of Changing Industrial Trends in Japan," Bank of Japan Working Paper Series No.24-E-2, Bank of Japan, 2024.